

1. 丸井今井札幌本店（札幌商工会議所）

平成29年5月に創業145周年を迎え、これまでの「丸井」の「M」を表したショッピングバッグを、5月1日から、アイヌ服飾文様研究家の津田命子氏が実際に刺繍したものを画像にしたアイヌ文様をデザインした新しいショッピングバッグに一新。

デザインの変更は26年ぶりで、ハートに近い独特の文様を、丸井のイメージ色の赤と北海道を囲む海の青で表現し、ショッピングバッグを通じ、アイヌ文化を発信。



（メンズ用）

2. JTB北海道

2017年5月、「北海道海鮮和食と道産酒 海空のハル」がオープン。「アイヌ民族博物館・ルイカプロジェクト」及び「北海道広域道産酒協議会 主体JTB北海道」（ハ酒ポート）とのコラボレーションにより、アイヌ料理と道産酒、道産食材の発信に協力しています。

「ハル」とは、アイヌ語で『自然から恵まれた食糧』の意味。

店内には、アイヌ民族博物館協力の元、アイヌ民族の伝統的家屋「チセ」を模した特別個室（ハルのチセ）をつくり、アイヌ伝統料理とともに気軽にアイヌ文化に触れるきっかけを提供できる環境を整備。

2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設に向けた機運の高まりと、白老に伝わるアイヌ文化に触れ、今年最終年を迎えるアイヌ民族博物館（白老）へ足を運ぶきっかけを提供。



3. 株式会社アブ・アウト（らーめん山頭火）

2010年よりカナダのバンクーバーやシンガポール、台湾、アメリカのシアトルなどの海外店舗において、アイヌ文様を店舗のデザインに取り入れたり、工芸品の展示などでアイヌ文化を発信しています。

平成29年6月1日に札幌駅前地下歩行空間にオープンした「らーめん山頭火 札幌北1条チカホ店」の店舗において、「民族共生象徴空間」PRポスターの掲示、アイヌ民族の工芸品、タペストリーの常設展示、店舗内装にアイヌ文様を取り入れるなど、国内店舗では初めて、アイヌ文化の情報を発信し、2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設機運を醸成しています。



4. JR北海道

平成28年12月から、特急すずらんで行くアイヌ文化を体験する旅行商品のポスターに「民族共生象徴空間」のPRも掲載したタイアップポスターを作成いただき、JR札幌駅や新千歳空港駅、ツインクルプラザ札幌支店など計100枚掲示いただいています。



5. 阿寒観光協会まちづくり推進機構

北海道観光振興機構会員のNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が共催した「イランカラプテ音楽祭 in 阿寒湖」が平成29年6月17日(土)に開催され、アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ (こんにちは)」を北海道のおもてなしの言葉として広めるための「イランカラプテキャンペーン」のイメージソング「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」の作詞・作曲を手掛けた新井満氏、作詞を手掛けた秋辺デガ氏、トワエモワ、ヒートボイス、阿寒アイヌコタンの皆様などが出演し、高橋知事もステージに上がり、歌や踊り、演奏などを通して、アイヌ文化の魅力を発信していただきました。



※同曲のCDは、札幌市内ではJR札幌駅構内の北海道どさんこプラザ札幌店と北海道赤れんが庁舎内の赤れんがストア、白老町では、アイヌ民族博物館、函館市内では、函館空港物産館、函館市元町の函館物産コロポ、大沼公園の国際交流プラザ、大沼鶴雅オーベルジュエブイで販売されています。

6 サッポロビール株式会社

民族共生象徴空間の開設が2020年4月24日に決定し、その1000日前が本年7月29日。

広く道民の皆様方に象徴空間の開設をお知らせするため、「開設1000日前記念カウントダウンセレモニー」を道庁赤れんが庁舎前庭で開催しました。

セレモニーでは、国のアイヌ政策推進会議座長代理の橘慶一郎復興副大臣をはじめ、高橋はるみ北海道知事、(公社)北海道アイヌ協会加藤理事長、官民応援ネットワークの横内龍三代表のほか、多くの皆様にご出席いただき、「カウントダウンボード除幕式」を行いました。

このセレモニーで使用したカウントダウンボードは、サッポロビール株式会社様からご提供いただいたもので、セレモニー終了後は、多くの方々も訪れる道庁赤れんが庁舎前に設置させていただいております。

また、平成29年8月には、札幌大通公園西8丁目のTHE札幌ビヤガーデン「ふるさと応援PRステージ」を活用させていただき、「民族共生象徴空間」の開設をPRしました。

会場モニターでは、高橋はるみ北海道知事も歌っている公式応援ソング「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」を放映しました。

民族共生象徴空間クイズでは、正解者にアイヌの楽器「ムックリ」と「サッチェブ（鮭トバ）」をプレゼント。

白老町アイヌ民族博物館のみなさんによる、「トンコリ」と「ムックリ」の演奏、そして、アイヌ古式舞踊を披露しました。



7 北海道テレビ株式会社

平成29年5月から6月にかけて、北海道の情報発信番組「LOVE HOKKAIDO」のエンディングテーマ曲として、「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」(イランカラプテキャンペーンのイメージソング)と合唱動画(平成29年2月、白老町で撮影)を使用させていただきました。

番組は、国内のみならず、海外(上海、台湾)でも放送されており、北海道内外に向けてアイヌ文化をアピールしていただくことが出来ました。

写真は、合唱動画の撮影の様子。合唱動画は、北海道庁インターネット放送局「Hokkai・Do・画」で見ることが出来ますので、是非ご覧ください。

<https://sites.google.com/site/hokkaidouchotv/home/miryoku/ainu>



8 白老町商工会女性部

白老町商工会女性部では、2020年の民族共生象徴空間の開設に向け、平成26年度から、全国商工会女性部連合会の「おもてなし交流事業」を活用し、ムックリ製作・演奏、アイヌ文様の刺繍などを学ぶ体験研修を実施し、全国の女性部員との交流を行っています。

また、平成29年度からは、アイヌ文様刺繍サークル「フッチコラチ」と共同で、アイヌ文様ネックストラップの製作を開始、アイヌ文化のPRを強化しています。

8月23日には、これらの取組状況の報告にあわせて、高橋知事にアイヌ文様ネックストラップが贈呈されました。



9 全日本空輸株式会社（ANA）

全日本空輸株式会社では、今後、道内6路線（新千歳空港から函館、利尻、釧路、女満別、中標津、稚内の往復便）で、航空機の着陸態勢に入る際、シートベルトを締める注意音が鳴り終わってから、CAが着席するまでの間（30秒～3分位）、「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」のサビの部分（インスト.ver）をBGMにて放送し、アイヌ文化の発信の取組をしていただく予定です。



10 日本航空株式会社（JAL）

日本航空株式会社では、平成29年10月から、国際線の機内誌「SKYWARD」10月号にて、アイヌ文化特集記事として「アイヌ文様」の紹介記事を掲載していただき、その中で、民族共生象徴空間の説明も掲載していただいております。

また、平成29年12月から、国内線全便で1ヶ月間、国際線全便で2ヶ月間、機内オーディオ・チャンネル「日本の歌」に、「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」のトワエモワ歌唱バージョンを放送し、アイヌ文化の発信の取組をしていただくこととなりました。



1 1 株式会社シービーツアーズ

株式会社シービーツアーズでは、白老町や平取町などを巡る道内のアイヌ文化を体験するバスツアーを、数多く企画いただいています。

11月には、野口観光、シービーツアーズ、ノーザンクロス3社の協働企画で、小学生の修学旅行で定番となっているコースを大人も楽しむバスツアーが企画され、有島記念館、洞爺湖有珠山ジオパークなどのほか、アイヌの歴史を学ぶため、白老のアイヌ民族博物館を巡ることとされております。

A4(210mm×297mm) 表面



1 2 苫小牧市

平成29年10月13日から15日まで苫小牧市で開催された日本女性会議において、全国各地から参加された約2,000名の方々へ象徴空間をPRするリーフレット等の配布にご協力いただくとともに、会場に象徴空間のPRブースを設けていただきました。

